

スペシャルすまいる

No. **64**
2020 **August**
NIKKO City Council of
Social Welfare

Public Relations Magazine "SPECIAL SMILE" of Nikko-Shakyo

小来川デイサービスセンター

平成31年4月 お花見鑑賞会



中宮祠介護サービスセンター

令和元年7月 中宮祠小学校交流会



西川デイサービスセンター

令和元年5月 生け花教室



栗山デイサービスセンター

令和元年12月 クリスマス会



日光市社会福祉協議会が運営する介護
保険事業所の各デイサービスセンター
の様子を紹介するっキー！



日光市社会福祉協議会
イメージキャラクター「ニッキー」



この広報誌の発行にはみなさま
からご協力いただきました赤い
羽根共同募金の配分金が使用さ
れています。

CONTENTS

- 令和元年度事業報告・決算 2ページ
- 令和2年度事業計画・予算 3ページ
- わたしの地域の福祉活動（日光、中宮祠、小来川、足尾） 4～5ページ
- 社協会費へのご協力のお願 6ページ
- 日赤・寄附・義援金報告 7ページ
- わたしたちの集いの場シリーズ（コロナにも負けず） 8ページ

令和元年度 事業報告・決算の概要

事業報告

■新規事業

- 第3期日光市地域福祉活動計画の策定（2カ年）
- 多機関連携による“ふくし”ネットワーク化事業の実施
- 多様な連携・協働育み事業（コレクティブ・インパクト）の実施

■実施した主な事業

1. 活動を支える

（住民主体の理念に基づく新たな地域コミュニティづくりを進めます。）

- ①第2期日光市地域福祉活動計画（13地区）の推進
- ②にっこう福祉のまちづくり推進委員会の運営支援
- ③小地域福祉活動拠点整備事業 他12事業

2. 担い手を育てる

（多様な人や機関等が地域活動に参加しやすい環境づくりを進めます。）

- ①介護支援ボランティア事業
- ②車いすボランティア養成事業
- ③地域福祉防災推進事業 他11事業

3. 生活を支える

（地域にとって身近な小地域での総合相談・生活支援体制づくりを進めます。）

- ①総合相談・生活支援体制強化事業
- ②地域包括支援センター運営事業（受託事業）

③訪問介護、通所介護、居宅介護支援事業

④法人後見事業 他18事業

4. 仕組みを創る

（日光らしさを活かした新たな課題解決のための取り組みに挑戦します。）

- ①社会福祉法人の「地域における公益的な活動」推進事業
- ②地域福祉・ボランティアに関する研究等の強化・推進 他4事業

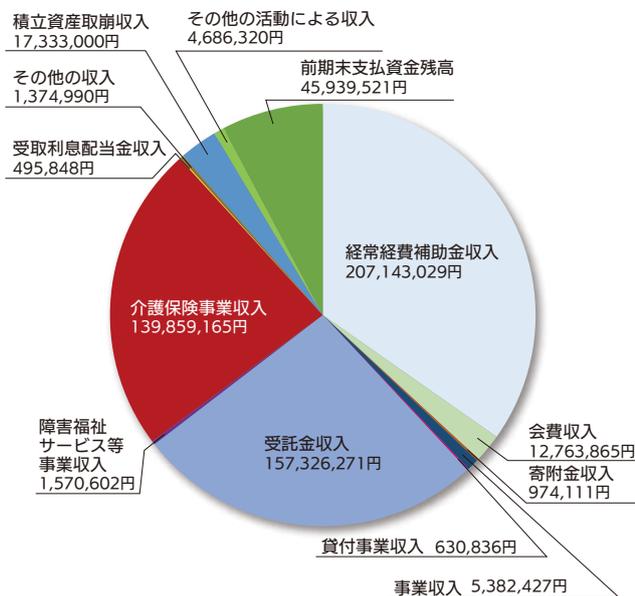
5. 組織を支える

（地域社会から信頼される組織を目指して経営管理体制の強化に努めます。）

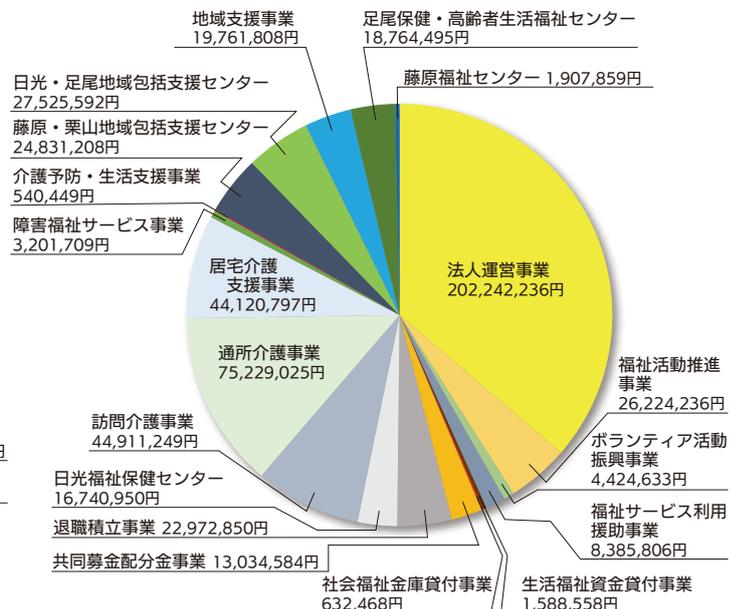
- ①第1次日光市社協総合推進計画の推進
- ②福祉のまちづくり基金、災害ボランティア活動支援基金の適正な運用
- ③災害相互支援協定締結社協交流研修事業
- ④テーマ別研修の推進

決算報告

収入 595,479,985円



支出 557,040,512円



令和2年度 事業計画・予算の概要

事業計画

■基本方針

国においては、福祉施策のひとつとして「地域共生社会」を掲げ、その実現に向けた改革を進めています。改革の骨格としては(1)地域課題の解決力の強化(2)地域丸ごとのつながりの強化(3)地域を基盤とする包括的支援の強化(4)専門人材の機能強化・最大活用の4つの柱を掲げています。

地域共生社会の実現に向けた地域づくりを推進するためには、地域住民の力が不可欠となります。このため本会においては、長年にわたり地域住民と共に、地域づくりや地域課題に対応する事業を展開してきました。このことにより、地域づくりを進めるための方策の蓄積、さらには関係機関や様々な活動主体とのネットワークを有しているという強みがあります。

この強みを活かして、地域共生社会の実現を目指し、住民相互の支えあいの機能をさらに強化するため、県や市及び地域住民と協働し、地域課題の解決に向けた体制づくりの強化に努めます。

また、令和3年度を初年度とする本会における第3期日光市地域福祉活動計画と日光市における第3期地域福祉計画については、住民主体による地域福祉活動を促進するため、本会と日光市が連携し、地域住民の参画のもと、引き続き計画の策定に取り組みます。

■活動目標

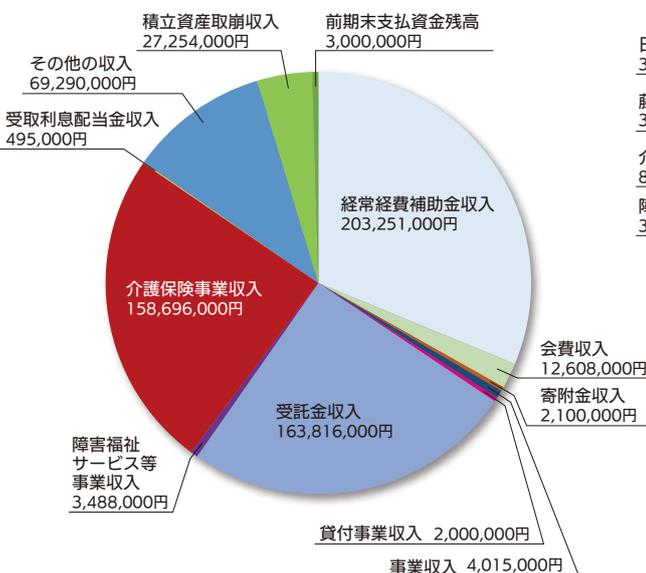
1. 住民主体の活動を支える支援体制の強化
2. 地域づくりの担い手となる人材発掘育成や地域の支え合いの仕組みづくりの推進
3. 総合相談支援・生活支援体制整備の強化
4. 地域福祉・生活課題に対応する多様な活動の実践と強化
5. 経営組織のガバナンスの強化及び事業運営の適確性・透明性の向上

■新規事業・活動

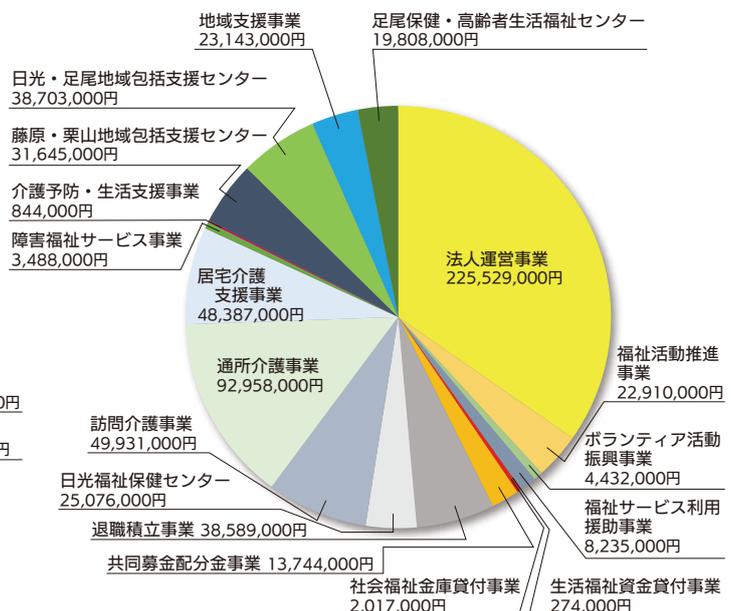
事業・活動名	内 容
地域資源把握推進事業	地域活動への参加や地域資源の活用を推進するため、地域資源などの情報をリストやマップ等に整理・集約した「(仮)地域資源ガイド」を作成し、地域住民や関係機関への周知・啓発を行います。
第2次日光市社協総合推進計画の策定	第1次計画期間終了に伴い、「にっころ福祉のまちづくりビジョン 2016→2025」の後期計画となる第2次計画(令和3年度～令和7年度)を策定します。

予 算

収入 650,013,000円



支出 649,713,000円



日光地域（日光・中宮祠・小来川地区）

おたがいさまの地域づくり ～日光地域の共生社会を目指して～

日光地域では、令和2年2月9日（日）、身近な地域の課題に気づき、居場所を含めた地域の支え合い活動の活動者（担い手）を育てる担い手養成講座開催事業「地域福祉活動推進セミナー」を実施しました。

プログラム①

《講義》地域福祉活動の重要性について

講師：LOCALISM LAB.（ローカリズム・ラボ）

代表 井岡 仁志 氏

【参加者の声】

- 地域によって活動内容も変わるが、地域の重要性がよくわかった。
- いろいろな取り組み等を聞くことができた。
- これからの検討課題が見いだせた。

プログラム②

《話し合い》いまのこと、これからのこと

【参加者の声】

- 新しくつくるのではなく、今あるものをより良くしていく。
- 各自治会の取組みを聞いて参考になった。
- これからの活動をどう進めていこうか、イメージを膨らませることができた。



講義では、全国で展開されている多様な形の地域福祉活動について事例を紹介していただきました。その後、グループごとに地域福祉活動の「今」そして「これから」について考えました。このセミナーをとおして感じたこと、取り組んでみたいことなど、多くの意見が寄せられました。

【参加者の声】※アンケートより

- 地域住民に頼ったり、頼られたり、本音で話せるまちづくり。自治会で話し合いや見学をし、隣近所との関係を密にしていきたいと思えます。
- 人と人のかかわり方が変わってきた。逆に人と人との付き合いはどうしたらよいかわからなく悩んでいます。
- 取り組めることを考えながら、行動してみたいと思えます。
- 知っていることと関わることは、大変な違いがあることを肝に銘じました。
- これからますます地域のつながり、活動が大切だと思います。一歩ずつ何かできることを進めないといけないと思いました。

の福祉活動

中宮祠地区

奥日光防災サロン

～もしもに備える、いつもの習慣～

中宮祠地区では、令和2年2月20日（木）、日光地区社会福祉協議会奥日光支部、奥日光ふくまち委員会主催の「奥日光防災サロン」を開催しました。

防災講話の後、ハイゼックス袋にお米と水をいれての炊飯、アルファ米に熱湯を加えるだけでできる非常用食品での炊き出し訓練と、避難所などで使える新聞紙食器、スリッパづくりをみんなで行いました。

昼食には、新聞紙で作製した食器を使って非常食を食べながら、感想や日頃感じていることなどおしゃべりしました。

新聞紙で食器やスリッパが、簡単に作れることに驚いた参加者もいました。



足尾地区

コロナに負けず、地域活動再開!

待ちに待った地域活動再開

新型コロナウイルス感染予防のため2か月以上休止していた地域活動が、6月から徐々に再開されています。

銅やまなみ館でちょきんアップ体操を実施している「ちょきんアップあかがね」も6月から活動を再開。

手洗い、うがいなど個人が行う予防策と、ソーシャルディスタンスや換気など、「3密」を防ぐ対策を取りながら活動しています。



仲間に出ると元気がでる!

休んでいる間の体力低下が心配でしたが、久しぶりの体操も最後まで全員行うことが出来ました。仲間と一緒にやる体操は楽しかったようで、終わったあとはみなさんすっきりした表情。

これからも、新しい生活様式を実践しながら、できる範囲での地域活動を続けてもらいたいと思います。



社協会員（会費）へのご協力をお願いします

日光市社会福祉協議会（社協）では、市民のみなさま、関係機関、団体のみなさまの参加と協力により、『誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり』を目指して、さまざまな活動を行っています。地域福祉に対する期待がますますふくらんでいる今日にあって、社協を運営し、その特色を活かした活動を進めていくためには、自主財源である会員からの会費収入をより充実させる必要があります。今年も7月・8月を中心に募集活動を進めて参ります。多くの方に会費をお寄せいただき、地域福祉のサポーターとして社協活動を応援していただければ幸いです。ご協力お願いいたします。

会員の区分・金額

- 市民会員 年額 500円
- 特別会員 年額 1,000円(1口)
- 法人会員 年額 5,000円(1口)

※会員とは、社会福祉に関心を有し、本会（社協）の目的に賛同し会費を納入する者をいう。【本会規約抜粋】

令和元年度 会費実績

12,763,865円

（市民会費、特別会費、法人会費）

皆様のご協力に
厚く御礼申し上げます。



会費納入のお願い例

地域の各世帯、法人（事業所等）



組長さん、班長さん



自治会長さん、行政推進員さん



納入のお願い

会費納入、収金

社会福祉協議会

会員会費の資金使途



誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりのための貴重な財源として、様々な取り組みに活用させていただきます。

地域へ還元

【地域が行う福祉活動】

各地区社協に助成し、地域課題の解決に向けた様々な取り組みに活用されます。

社会福祉協議会事業へ

【社協が進める福祉活動】

市全域を対象とする市社協の事業等に活用されます。

日赤募金（社資）へのご協力ありがとうございました

募金総額は、

6,846,650 円

（令和2年5月末現在）

お寄せいただきました募金は、日本赤十字社に全額送金し、
次のような赤十字活動に役立てられます。

- 災害救護
- 国際救護活動
- 看護師養成
- 医療事業
- 赤十字ボランティア活動
- 講習普及事業
- 社会福祉事業
- 青少年赤十字活動
- 血液事業

寄 附 報 告

〈令和2年3月1日～令和2年5月31日〉

（一般寄附）

順不同・敬称略

取扱	寄 附 者 名	金額(円)
本所	三 遊 会	2,973
本所	スマイル日光プロジェクト	150,000
本所	高 橋 亘	2,478
本所	匿 名	10,000
今市	日光市下原地区 コミュニティ推進協議会	947
今市	匿 名	5,000

（物品寄附）

順不同・敬称略

取扱	寄 附 者 名	品 名
本所	齋 藤 定 雄	手作りマスク 42枚
本所	有限会社 ニッセン栃木	アルカリ電解水400ℓ
本所	日光山輪王寺	手作りマスク100枚
本所	田 村 とし子	手作りマスク120枚
栗山	在宅介護支援施設 ひだまり 代表 山 越 時 子	手作りマスク 30枚

皆様のお気持ち
ありがとうございます

「令和元年台風第19号 災害義援金」のお礼と報告

このたびは、「令和元年台風第19号災害義援金」へ多くの皆さまからの温かいお気持ちをお寄せいただき、誠にありがとうございました。

日光市及び日光市社会福祉協議会では、被災された方々を支援するために令和元年10月21日（月）から台風第19号災害に対する義援金の募集を行って参りましたが、令和2年3月27日（金）をもちまして募集を終了いたしました。

皆さまからお寄せいただきました義援金総額は611,647円となりました。

この義援金は、日本赤十字社栃木県支部に全額送金をさせていただきました。

なお、日本赤十字社では、令和3年3月31日（水）まで義援金を受け付けています。詳しくは下記のホームページをご参照ください。

日本赤十字社

「令和元年台風第19号災害義援金」

<http://www.jrc.or.jp/contribute/help/19/index.html>

みんなが“ニッコリ”助け合い、“ホッ”と安心できる場所

わたしたちの集いの場

コロナ
にも
負けず

新型コロナウイルスの感染拡大が心配されるなか、「集いの場」の活動を再開することを悩まれている方もいらっしゃるかと思います。

今回は感染予防に配慮した活動再開のためのポイントを紹介します。

無理をしない参加を

こんなことを
心がけよう!!



- 毎日、体温を計測し体調を確認しましょう。
- 体調が悪いときは休みましょう。
- 症状がなくてもマスクを着用しましょう。運動をする場合は、無理をせず、早めに休憩を取りましょう。
- こまめに水と石けんで丁寧な手洗いを心がけましょう。
- 夏場は、熱中症予防のため、こまめに水分補給をしましょう。

こんなことを
心がけよう!!

密にならない工夫を

- 1時間に2回以上の換気をしましょう。
- お互いの距離は、互いに手を伸ばしたら手が届く範囲以上空けましょう。
- 会話をする際は、正面に立たないよう気をつけましょう。



以上が集いの場再開のためのポイントです。

これらを参考にして「新たな集いの場様式」を構築し、笑顔が集まる地域の居場所を再開してみませんか。

また、「こもりがちな友人に電話をかけてみる」「移動の自粛で通うことのできない家族の代わりに、友人の買い物代行をする」など、集うこと以外の「新たなつながり方」を模索するのもよいかもしれません。

社会福祉協議会では、これからも様々な取り組みを紹介させていただきながら、楽しくいきいきと暮らせるまちづくりを、皆様と共に考えていきます。

スペシャルすまいる

No.64 2020.7.25

■編集・発行／社会福祉法人 日光市社会福祉協議会

〒321-1261 栃木県日光市今市511-1 (日光市役所春日町庁舎内)

TEL 0288-21-2759 / FAX 0288-21-3110

ホームページアドレス <http://www.shakyo-nikko.or.jp>

印刷：沖印刷